

第1回 圏央道（境古河 IC～つくば中央 IC）軟弱地盤対策検討委員会

日 時：平成27年9月30日（水）10：00～12：00

場 所：九段第3合同庁舎11階 共用会議室2-2

議事要旨：以下の通り

1. 事務局挨拶

軟弱地盤上の盛土箇所の一部において、軟弱地盤の圧密が予測以上に大きく進行していることから、その要因や今後の対策などについて、幅広く専門家の皆様からご意見を頂くとともに、今後施工する軟弱地盤上の盛土箇所についてもご意見を頂き、開通後の安全性・維持・管理も踏まえ、適切に対応していきたい。

2. 軟弱地盤対策検討委員会について

設立趣意書、規約について了承。

規約に基づき、委員長に高橋 章浩（東京工業大学 大学院理工学研究科 土木工学専攻 教授）が選任。

3. 委員長挨拶

当該区間は、関東ロームや火山灰質土の多い台地や氾濫平野であり、層構成が複雑な地域。大きな沈下が発生することは予想されるが、事前に把握することは難しい地域である。本委員会において調査や検討の方向性が示されて、1日も早く開通されることが望まれる。

4. 議事概要

○検討箇所①について

- ・当該箇所は軟弱層が30mもあり、特に下層には沈下の予測が難しいと思われる海成粘土層があるため、十分留意して調査すべき。
- ・同じ軟弱層でも層内で特性が違う場合があるので詳細に調査すべき。
- ・予測以上の沈下による橋台への影響についても確認すべき。

○検討箇所②について

- ・当該箇所は、旧河道のような浅い谷があったようなので、近隣と土層構成が異なっている可能性があるため、近隣と比較調査をすべき。

○今後、予測以上の沈下が発生する可能性が高い箇所について

- ・軟弱地盤は、最初は予測どおり沈下した場合でも、なかなか沈下が収束しない場合があるため、予測以上の沈下が発生するかどうかの判断には十分な期間を確保しておくよう留意すべき。